

# 大阪市における市民活動支援の取組報告

## 【目次】

1	<a href="#">活動の活発化に向けた支援策</a>	1
(1)	<a href="#">活動上の課題解決に向けた支援</a>	1
ア	<a href="#">活動上の課題解決に役立つ情報の収集・発信</a>	1
①	<a href="#">市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実</a>	3
②	<a href="#">活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）</a>	4
③	<a href="#">地域公共人材の活用促進の取組</a>	5
イ	<a href="#">活動上の課題解決に向けた寄り添い型のサポート</a>	7
①	<a href="#">24区役所に市民活動に関する相談窓口を開設</a>	9
②	<a href="#">地域公共人材派遣による支援</a>	10
③	<a href="#">まちづくりセンター等による支援</a>	12
(2)	<a href="#">市民活動への参加の促進に向けた支援</a>	15
ア	<a href="#">活動への参加を求める工夫</a>	15
①	<a href="#">市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援</a>	17
②	<a href="#">地域コミュニティにおける活動主体への加入促進に向けた支援</a>	18
③	<a href="#">マンション住民のつながりづくりの取組（北区）</a>	19
④	<a href="#">まちづくりセンター等による支援【再掲】</a>	20
2	<a href="#">連携協働に向けた支援策</a>	23
(1)	<a href="#">知る機会につながる支援</a>	23
ア	<a href="#">連携協働に向けた情報発信の充実</a>	23
①	<a href="#">企業連携によるインターネットテレビを活用した情報発信</a>	25
②	<a href="#">連携協働のプロセス・メリット・成功事例の提供</a>	26
③	<a href="#">市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援【再掲】</a>	27
(2)	<a href="#">学び成長する機会につながる支援</a>	29
ア	<a href="#">連携協働に必要なスキルを学ぶ機会の提供</a>	29
①	<a href="#">地活協フォーラムによる事例共有</a>	31
②	<a href="#">協働推進に向けた職員づくり・体制づくり</a>	32
③	<a href="#">地域公共人材派遣による支援【再掲】</a>	33

(3) <u>つながりが生まれる環境につながる支援</u> .....	35
ア <u>つながりをつくることを目的とした場の提供</u> .....	35
① <u>活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）【再掲】</u> .....	37
② <u>活動主体間の交流の場の情報提供</u> .....	38
③ <u>市民活動に役立つ資源の情報提供の取組</u> .....	39
④ <u>まちづくりセンター等による支援【再掲】</u> .....	40
(4) <u>活動が認知・顕彰される環境につながる支援</u> .....	43
ア <u>認知・顕彰する機会の創出</u> .....	43
① <u>CB事業の顕彰（CSOアワード大阪市長賞）</u> .....	45
② <u>市民活動推進助成事業（区政推進基金市民活動団体支援型）</u> .....	46
(5) <u>活動状況に応じて適切な支援を受けることができる環境につながる支援</u> ...	49
ア <u>戦略づくりに向けた支援</u> .....	49
① <u>地域公共人材派遣による支援【再掲】</u> .....	51
イ <u>知識や情報の収集に向けた支援</u> .....	53
② <u>市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実【再掲】</u> .....	53
ウ <u>市民活動支援における連携協働</u> .....	54
③ <u>中間支援組織等の協力を得た取組事例</u> .....	54



# 1 活動の活発化に向けた支援策

## (1) 活動上の課題解決に向けた支援

### ア 活動上の課題解決に役立つ情報の収集・発信

#### 提言のポイント

提言では、市民活動団体の活動の活発化に向けた支援策として、団体の活動上の課題解決に向けた支援が必要であるとし、活動上の課題解決に役立つ情報の収集・発信を行うポイントとして次のとおり提言しています。

- 活動の活発化に向けて、ICTを活用しながら、組織運営の強化等の活動上の課題解決に必要なスキルを得る機会の情報などを収集し、分かりやすく発信する。
- 活動の活発化に向けて、組織運営の強化等の活動上の課題解決に必要なスキルを得る機会として、活動主体間の交流や情報交換の場（実際に集まる場やICTによる情報共有の場）を設定、または情報提供する。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より

## 1 活動の活発化に向けた支援策

### (1) 活動上の課題解決に向けた支援



#### ア 活動上の課題解決に役立つ情報の収集・発信

- ① [市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実](#)
- ② [活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）](#)
- ③ [地域公共人材の活用促進の取組](#)

番 号	事業・取組の名称
①	市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実


目 的	市民活動を進める誰もが、活動を進めるうえで必要な情報を容易に取得できる環境を作る。
概 要	<p>大阪市における市民活動・ボランティア活動の活性化に役立つ様々な情報をインターネット上で収集・発信するサイトとして、「大阪市市民活動総合ポータルサイト」を運営している。</p> <p>サイトでは、市民活動・ボランティア活動への市民の参加を促すとともに、市民活動団体がこれらの情報を利用して活動を円滑に進め、他の市民活動団体や企業などと連携協働しながら地域課題の解決に向けた取組を進められるよう支援することを目的とし、様々な情報を掲載している。</p> <p>平成30年4月には、NPO法人関連情報の項目を追加し、NPO法人化に向けた手続き等の情報を掲載するなど、情報の充実を図った。</p> <p>また、サイトの活用促進に向けて、様々な機会を通じてサイトの有用性や登録のメリットを説明し、平成29年度に24区役所において開設した市民活動に関する相談窓口での相談対応の際にも紹介するなど、登録や活用を促している。</p> <p>〔取り扱う項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市域で活動する団体や社会貢献活動に取り組む企業に関する情報</li> <li>・ボランティア募集情報・イベント情報</li> <li>・市民活動を進めるうえで役に立つ支援制度や資源に関する情報 など</li> </ul> <p>URL : <a href="http://kyodo-portal.city.osaka.jp/">http://kyodo-portal.city.osaka.jp/</a></p> 
取組のポイント	活動上の課題解決に役立つ、新しい情報を収集し、掲載情報を充実させる。サイトの活用促進に向けて、様々な機会を通じて周知を行う。
実 績	<p>【平成29年8月～平成30年8月】</p> <p>情報掲載件数 957件</p> <p>※ 掲載件数の多い分野</p> <p>「ボランティア・イベント情報」「団体情報」「助成金情報」など</p>

番 号	事業・取組の名称
②	活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）

目 的	<p>市民、市民活動団体、企業など多様な主体が連携し、公共の担い手として市民活動、社会貢献活動ができるよう、活動を進めるうえで他の団体や企業と連携・協働を進めやすい環境を整えるために、「交流の場」の開催・運営等を行う。</p>
概 要	<p>平成 30 年度は、交流の場づくりを行う「社会課題解決に向けたプラットフォーム構築業務」を実施しており、交流会の開催とともに、交流の促進を目的として「つながるうまれる市民活動の WA! project」ホームページを立ち上げた。</p> <p>このサイトでは、実際に集まる「交流の場」の周知を行うだけでなく、「交流の場」での対話後も参加者が継続的なつながりを保つ仕組みとして、「情報交換掲示板」コーナーを設け、ウェブ上でもつながることができる「交流の場」を設けた。</p> <p>URL : <a href="https://www.osaka-wa.jp/">https://www.osaka-wa.jp/</a></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
取組の ポイント	<p>活動主体間の交流や連携協働の創出に向け、実際に集まる「交流の場」に加えて、ICT を活用して継続的につながることができるウェブ上での「交流の場」を設けた。</p>
実 績	<p>平成30年 6月 「つながるうまれる市民活動のWA! project」サイトを立ち上げる</p> <p>平成30年 7月 交流の場「第1回研究会」を開催 「つながるうまれる市民活動のWA! project」サイト内に「情報交換掲示板」を開設</p> <p>平成30年9月 交流の場「第2回研究会」を開催</p>



番 号	事業・取組の名称
③	地域公共人材の活用促進の取組

目 的	<p>市民活動団体からの依頼に応じてさまざまな専門知識やノウハウを持った「地域公共人材」を派遣することで、活動の活性化に向けた支援を行う。</p>																																																																												
概 要	<p>市民活動団体からの依頼に応じて「地域公共人材」を派遣し、依頼内容に応じてファシリテーションやコーディネートを行うなど、市民活動団体の取組を支援している。</p> <p>制度の活用に向けて、支援事例を盛り込んだリーフレットの作成やホームページのリニューアル、SNSでの活動紹介などを行った。また、直接市民活動団体に対して制度の活用を促す区役所・まちづくりセンター等職員向けに事例共有会を開催した。各区役所では、市民活動団体からの相談を受けた際に地域公共人材の活用を提案したり、地域活動協議会の会長などが出席する会議の場などで制度紹介を行った。</p> <p>その結果として、平成29年11月頃から派遣申込みが増え、地域公共人材の活用が図られている状態となっている。</p> <p>&lt;区役所の主な取組&gt;</p> <p>西淀川区：制度を活用して取り組みたいことはないか地域活動協議会に対して聞き取りを実施し、派遣申請に至った。</p> <p>城東区：区内であった派遣事例をまちづくりセンターがとりまとめ、地域活動協議会連絡会で報告している。</p>																																																																												
取組の ポイント	<p>制度の活用促進に向けて、制度所管から区役所へ丁寧に制度説明を行い、区役所は機会を捉えて市民活動団体に直接制度利用を進めるなど、力を入れて取り組んだ。</p>																																																																												
実 績	<p>【平成29年8月から平成30年9月末まで】</p> <p>市民局・各区役所の取組により、以前に比べ派遣申込件数が非常に伸びている。</p>  <table border="1"> <caption>月別派遣申込件数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>地域型</th> <th>テーマ型</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29.4</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.5</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29.6</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.8</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.11</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.12</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H30.1</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>H30.2</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.3</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.4</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.5</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.6</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.7</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.8</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.9</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> </tbody> </table>	月	地域型	テーマ型	合計	H29.4	1	0	1	H29.5	2	0	2	H29.6	2	1	3	H29.7	0	0	0	H29.8	1	0	1	H29.9	0	0	0	H29.10	0	0	0	H29.11	2	1	3	H29.12	0	0	0	H30.1	4	2	6	H30.2	4	0	4	H30.3	3	0	3	H30.4	4	1	5	H30.5	3	1	4	H30.6	5	0	5	H30.7	4	1	5	H30.8	3	1	4	H30.9	4	1	5
月	地域型	テーマ型	合計																																																																										
H29.4	1	0	1																																																																										
H29.5	2	0	2																																																																										
H29.6	2	1	3																																																																										
H29.7	0	0	0																																																																										
H29.8	1	0	1																																																																										
H29.9	0	0	0																																																																										
H29.10	0	0	0																																																																										
H29.11	2	1	3																																																																										
H29.12	0	0	0																																																																										
H30.1	4	2	6																																																																										
H30.2	4	0	4																																																																										
H30.3	3	0	3																																																																										
H30.4	4	1	5																																																																										
H30.5	3	1	4																																																																										
H30.6	5	0	5																																																																										
H30.7	4	1	5																																																																										
H30.8	3	1	4																																																																										
H30.9	4	1	5																																																																										



# 1 活動の活発化に向けた支援

## (1) 活動上の課題解決に向けた支援

### イ 活動上の課題解決に向けた寄り添い型のサポート

#### 提言のポイント

提言では、市民活動団体の活動の活発化に向けた支援策として、寄り添い型のサポートが必要であると、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 活動の活発化に向けて、組織運営の強化等の活動上の課題解決を図るため、団体の活動状況を把握したうえで、必要な情報を提供する。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より

## 1 活動の活発化に向けた支援

### (1) 活動上の課題解決に向けた支援

#### イ 活動上の課題解決に向けた寄り添い型のサポート

① [24 区役所に市民活動に関する相談窓口を開設](#)


② [地域公共人材派遣による支援](#)

[事例：活動アピールのためのロゴマーク作成（旭区大宮校下地域活動協議会）](#)

③ [まちづくりセンター等による支援](#)

[事例：地域カルテを活用したコミュニティ醸成（浪速区新世界地域活動協議会）](#)

番 号	事業・取組の名称
①	24 区役所に市民活動に関する相談窓口を開設

目 的	市民活動を進める誰もが、必要なときに適切な支援を受けることができるよう実施
概 要	<p>平成 29 年 12 月に、大阪市内で市民活動を行っている、または行おうとしている個人、団体、企業・教育機関などを対象とした、市民活動に関する相談窓口を 24 区役所において開設した。</p> <p>これまでに、市民活動団体からは、広報の手法や助成金に関すること、他団体との連携に関すること等、また企業からは、企業の社会貢献活動による地域との連携について、相談が寄せられている。</p> 
取組の ポイント	市民活動団体の活動上の課題解決に向けて、より身近な場所に相談窓口を設けて支援する。
実 績	<p>【平成 29（2017）年 8 月以降】</p> <p>平成 29 年 12 月までに、24 区役所において相談窓口を開設。 相談件数（平成 29 年度・24 区計） 40 件</p>

番 号	事業・取組の名称
②	地域公共人材派遣による支援

目 的	<p>さまざまな専門知識やノウハウを持った「地域公共人材」を市民活動団体からの依頼に応じて派遣し活動の支援を行うことで、地域における市民活動の振興をめざす。</p>																																																																												
概 要	<p>市民活動団体からの依頼に応じて、地域公共人材バンク登録者の中から適切な人材を複数人選抜。それぞれの得意分野を活かして、依頼内容に応じてファシリテーションやコーディネート、専門的な知識やノウハウの提供を行うなど、市民活動団体の取組を支援している。</p> <p>初回ヒアリングでは団体の抱える現状を詳しくヒアリングし、課題解決に向けた支援計画を団体と考えゴールイメージを共有する。</p> <p>その後、派遣計画に基づき課題解決に向けた支援を行う。派遣回数は概ね5回までで、時間は各回1～3時間程度である。</p>																																																																												
取組の ポイント	<p>現在の地域公共人材バンク登録者数は 126 名で大学教授や中小企業診断士、デザイナーなど様々な知識・経験・スキルを持った人材が登録している。そのため、団体の依頼内容によって、適切な人材をマッチングさせることができる。</p> <p>また、支援の手法として、ファシリテーションが基礎となっているため、団体のニーズに寄り添った支援を行っている。</p> <p>さらに、人材への報償金は大阪市が負担しているため、申込団体は無料でサービスを受けることができる。</p>																																																																												
実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共人材が派遣計画を考え、団体とゴールイメージを共有した後、団体の抱える現状を分析・整理し、課題解決に向けてアクションすることで、より具体的な支援ができた。</li> <li>利用者満足度 <b>95%</b>（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> <li>派遣件数 73 件（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> </ul> <div data-bbox="352 1664 1417 2033"> <p style="text-align: center;">月別派遣申込件数</p> <table border="1"> <caption>月別派遣申込件数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>地域型</th> <th>テーマ型</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29.4</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.5</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29.6</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.8</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.11</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.12</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>H30.1</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.2</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.3</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.4</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.5</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.6</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>H30.7</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.8</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.9</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> </div>	月	地域型	テーマ型	合計	H29.4	1	0	1	H29.5	2	0	2	H29.6	2	1	3	H29.7	0	0	0	H29.8	1	0	1	H29.9	0	0	0	H29.10	0	0	0	H29.11	2	1	3	H29.12	4	2	6	H30.1	4	0	4	H30.2	3	0	3	H30.3	4	1	5	H30.4	3	2	5	H30.5	5	0	5	H30.6	4	2	6	H30.7	3	1	4	H30.8	4	1	5	H30.9	4	1	5
月	地域型	テーマ型	合計																																																																										
H29.4	1	0	1																																																																										
H29.5	2	0	2																																																																										
H29.6	2	1	3																																																																										
H29.7	0	0	0																																																																										
H29.8	1	0	1																																																																										
H29.9	0	0	0																																																																										
H29.10	0	0	0																																																																										
H29.11	2	1	3																																																																										
H29.12	4	2	6																																																																										
H30.1	4	0	4																																																																										
H30.2	3	0	3																																																																										
H30.3	4	1	5																																																																										
H30.4	3	2	5																																																																										
H30.5	5	0	5																																																																										
H30.6	4	2	6																																																																										
H30.7	3	1	4																																																																										
H30.8	4	1	5																																																																										
H30.9	4	1	5																																																																										

事例：地域公共人材派遣による支援の事例

活動アピールのためのロゴマーク作成（旭区大宮校下地域活動協議会）

<p>目的</p>	<p>市民活動団体からの依頼に応じてさまざまな専門知識やノウハウを持った「地域公共人材」を派遣することで、活動の活性化に向けた支援を行う。</p>
<p>概要</p>	<p>大宮校下地域活動協議会で考えたキャッチフレーズをロゴマークとしてカタチにすることで、団体の活動をアピールし認知度を向上させたいという希望があり、広報（広報誌・動画・webデザイン等）等に知見のある地域公共人材を2名派遣した。</p> <p>地域公共人材は、ロゴマークの重要性・役割等の説明や、団体の要望を引き出すようファシリテーションを実施し、ロゴマークの完成に至った。</p> <p>地域公共人材が、「他者の意見を否定しない」「全員が意見を言う」等の工夫点を用い、ファシリテーションを実施したことで、意見を言いやすい雰囲気醸成された。</p> <p>その後の団体の会議においても、その雰囲気が継続しており、議論が活性化した。</p>
<p>取組のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共人材は、団体に不足している知識の補助や、意見を言いやすい雰囲気の醸成及び意見の整理等の寄り添い型の支援を行い、団体自らの力でロゴマークを完成させるよう導いた。</li> <li>・ロゴマークの作成を通じ、団体の活動目的や活動内容を振り返ることができた。</li> </ul>
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全5回（平成30年3月20日～平成30年7月31日）の派遣により、ロゴマークが完成。</li> <li>・ロゴマークは、地域活動協議会の封筒や情報誌などの広報物に掲載。</li> </ul> <div data-bbox="363 1624 922 2007" data-label="Image"> </div>

番 号	事業・取組の名称
③	まちづくりセンター等による支援

目 的	<p>市民による自律的な地域運営の実現</p> <p>活力ある地域社会づくりに向けて、各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組めるよう、中間支援組織を活用し、自律的な地域運営を支援する。</p>
概 要	<p>それぞれの区において、地域実情に応じた中間支援組織に委託し、区からの密接な指示命令系統のもと、各地域活動協議会の状況に応じた効率的かつ効果的な支援を実施している。</p> <p>(東淀川区及び旭区は非常勤嘱託(地域づくりアドバイザー))</p>
取組の ポイント	<p>区役所の戦略に基づく受託者等による支援事業の実施状況について、PDCAの観点から、今後の各区における事業効果を高め、支援のあり方について検討するために評価を行っており、その内容を公表している。</p> <p>まちづくりセンター等が行う支援について、どのような支援を受けられることができるかについて知っていただけるように、課題・取組別に整理したうえで、市民局のウェブサイト上で公開している。</p> <p>まちづくりセンター等が行った支援の好事例を集めた事例共有会を開催し、まちづくりセンター等が区を越えて情報交換ができる仕組みを設けている。</p>
実 績	<p>【平成30年3月末時点】</p> <p>1 地域活動協議会の形成数 325</p> <p>2 構成団体数の状況 地域活動協議会1団体あたり 23.6</p> <p>3 広報媒体の状況 掲示板 325/広報紙等 251/ホームページ 90 ブログ 59/FACEBOOK 125/Twitter 11</p>



事例：まちづくりセンター等による支援の事例

地域カルテを活用したコミュニティ醸成（浪速区新世界地域活動協議会）

<p>目的</p>	<p>各地域活動協議会に対し、「地域カルテ」に基づくきめ細かな支援を行うことで、地域活動協議会が抱える課題を解決し、活動の活性化を行う。</p>
<p>概要</p>	<p>災害時にも地域住民と地域への外国人観光客を含む外国人とが相互に助け合える地域づくりに向けて、まずは相互のつながりをつくるため、地域カルテを活用した支援を行った。</p> <p>地域カルテにて、地域内で特技（折り鶴）を活かし、来店客に好評を博している店主の存在が確認できたため、この方に地域人材として活躍していただき、区内の日本語学校に通う外国人留学生に鶴の折り方を教え、その外国人留学生が、ナイトマーケットに訪れた地元の方や観光客らと交流を深めた。</p> <div data-bbox="347 875 1406 1182" data-label="Image"> </div>
<p>取組のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域カルテを通じて、地域内に担い手となる人材が乏しい現状（解消すべき課題）であることを認識・共有していただき、課題解決の方策として、地域内外を問わず、様々な人材・資源と繋がってゆく手法を用いる必要があることを認識・共有していただく。</li> <li>・折り紙(伝統文化)をキーワードとした、地域の人材と区内の日本語学校に通う外国人留学生とのマッチングを提案し、これを契機に地域と留学生との交流を図り、地域外より人材を呼び込む仕組みをつくる。</li> <li>・事前練習会等交流を深めるプロセスの中で、食文化の違いに関する話題で盛り上がったことがきっかけとなり、災害時における多様な炊き出し食材の必要性などへ議論が深化した。転じて、”通りすがり住民”とも言える外国人留学生をはじめとする短期居住者も地域住民、との「気付き」、災害の備えに外国籍住民の存在を意識するなど、地域が抱いていた「地域コミュニティへの既成概念の変化」が見られた。</li> </ul>
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年9月1日に新世界で開催されたナイトマーケットで「折り鶴教室」を開催した。マッチングによって繋がりができた外国人留学生が、ナイトマーケットに訪れた地元の方や観光客らと交流を深めている。</li> <li>・平成30年9月9日発行の新聞に、地域と留学生、また、外国人観光客らとの交流を深める取組として掲載された。</li> </ul>



# 1 活動の活発化に向けた支援

## (2) 市民活動への参加の促進に向けた支援

### ア 活動への参加を求める工夫

#### 提言のポイント

提言では、市民活動団体の活動の活発化に向けた支援策として、活動への参加の促進に向けた支援が必要であると、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 活動への参加を求める前の段階の工夫として、活動に興味を持つ段階を大切に、参加者の興味をひく参加しやすい場づくりや誘い方に配慮する。
- 継続的な参加につなげるため、はじめから負担を感じさせないなど、相手の軸で考えて徐々に活動に加わってもらえるよう配慮する。
- 活動への参加者を増やすため、活動内容と参加方法を分かりやすく公表する。また、情報を集約的に示すなどの支援を行う。
- 興味を持った方に参加いただけるよう、短時間の参加枠を設ける、得意分野を生かせる参加枠を設けるなど、参加者の都合に合わせた参加形態を工夫する。
- ターゲットが興味や関心を持っている内容を考慮し、いろいろな機会を捉えて、また広報媒体を検討して、参加を促す募集方法を工夫する。
- 担い手の活動へのやりがいやモチベーションを高めて活動の継続を促すため、学ぶ機会や活動を認知・顕彰する機会を設け、担い手の育成に取り組む。
- 事業の必要性や趣旨を整理し、活動の現状にあった取組の規模や取組手法になるよう、取組内容を定期的に見直す。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より

## 1 活動の活発化に向けた支援

### (2) 市民活動への参加の促進に向けた支援

#### ア 活動への参加を求める工夫

- ① [市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援](#)
- ② [地域コミュニティにおける活動主体への加入促進に向けた支援](#)
- ③ [マンション住民のつながりづくりの取組（北区）](#)
- ④ [まちづくりセンター等による支援【再掲】](#)  
[事例：ICTを活用した参加のきっかけづくり（福島区）](#)

番 号	事業・取組の名称
①	市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援

目 的	各活動主体の担い手の確保につなげるため、各活動主体に対して活動内容を分かりやすく発信することを勧めるとともに、活動内容を集約して発信できるようにするなど、情報発信の支援を行う。
概 要	<p>市民活動総合ポータルサイトに、市民活動団体が自ら情報を発信できる仕組みを作り、情報発信の支援を行っている。</p> <p>ポータルサイトに登録することで、団体の活動内容とともに、ボランティア募集、イベント周知などの情報を発信することができ、興味を持った方に分かりやすく情報が届くようにするため、エリア別、活動分野別に検索できる機能を備えている。</p> <p>また、平成29年10月以降、これまで市民活動に関わりの少なかった方に活動へ参加いただくきっかけとなるよう、順次、次の機能を追加した。</p> <div data-bbox="347 913 1433 1249" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【新たに追加した機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生を対象としたボランティア募集情報の検索機能（平成29年10月）</li> <li>・大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストボランティア加点对象事業一覧の掲載及び、この一覧に対応するボランティア募集情報の検索機能（平成30年5月）</li> <li>・住所を入力すると住所地の地域活動協議会やその取組内容を検索できる機能（平成30年8月）</li> <li>・ポータルサイトの利用を個人で登録できる機能（平成30年9月）</li> <li>・登録団体・個人が、自ら取組や活動の報告を発信できる機能（平成30年9月）</li> </ul> </div> <p>これらのメリットを幅広く周知するため、大学コンソーシアム大阪に各大学への周知の協力を依頼したほか、区役所を通じて地域団体に紹介するなど、機会を捉えてPRし、登録・活用の促進を行っている。</p> <div data-bbox="384 1406 1332 1809"> <p>The image shows three screenshots from the portal site. The top left shows a search bar for '大学生ボランティア' (University Student Volunteers) with a dropdown menu. The top right shows the main header of the '大阪市市民活動総合ポータルサイト' (Osaka City Citizen Activity General Portal Site) with navigation icons. The bottom left shows a search function for '地域の活動を知りたい' (I want to know about local activities) with a magnifying glass icon and text explaining that users can search by entering their address to find local activity association information. The bottom right shows a '個人の方のご登録' (Registration for Individuals) button with a person icon and text stating that individuals who are already participating in volunteer or local activities can register from there.</p> </div>
取組のポイント	<p>活動への参加者を増やすため、活動内容やボランティア募集の情報を集約的に分かりやすく示すなどの支援を行っている。</p> <p>また、登録・活用の促進を図るため、機会を捉えてPRを行った。</p>
実 績	<p>【平成29年8月～平成30年8月】</p> <p>新規登録団体数 168件</p>

番 号	事業・取組の名称
②	地域コミュニティにおける活動主体への加入促進に向けた支援

**目 的** つながりづくりの基盤となる住民に最も身近な自治会・町内会単位の活動を支援することで、人と人とのつながりづくりを促進し、地域コミュニティ活動の活性化につなげる。

**概 要** 自治会・町内会をはじめとする地域コミュニティにおける活動主体への加入を促進するため、区のホームページや区の広報紙で呼びかけるとともに、加入促進チラシの区役所内での配架や、転入者が必要とする情報をまとめて提供する「転入者パック」に入れて配布するなどの加入促進支援の取組を、24区で共有し、各区において工夫しながら横展開している。

『住之江区』



『東住吉区』



**取組のポイント** 地域コミュニティの活動を始めるタイミングのひとつに引っ越しがあると考え、転入の機会を捉えて加入を呼びかけている。

**実 績** 区役所における加入促進支援の取組（平成30年9月現在）

ホームページ	区広報紙	チラシ配架	転入者パック
10区	13区	9区	15区

※その他の取組を含め、22区において加入促進支援を行っている。

番 号	事業・取組の名称
③	マンション住民のつながりづくりの取組（北区）

目 的	マンションを対象に防災をテーマに住民同士のつながりづくりを支援し、区内の地域防災・地域コミュニティの活性化につなげるため。																								
概 要	<p>平成 29 年度、区内の分譲マンション（366 棟）に、防災に関するアンケート調査を行い、約 30 棟のマンションから回答を得ることができた。</p> <p>平成 30 年度は、アンケートに回答したマンションを対象に、ヒアリングを実施し、マンションにおける防災やコミュニティの現状等を把握した上で、マンションの特性に応じた防災講座や防災の基本ルールづくり、避難訓練などの支援とともに、自助・共助のため、地域とのつながりの必要性を呼び掛けている。</p> <p>マンション住民間の防災活動の機会を設け、防災の取組を通して、マンション内のコミュニティ形成から、地域との接点形成までをめざしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>『防災講座の様子』</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>『防災の基本ルール』</p>  </div> </div>																								
取組の ポイント	<p>区内の世帯数の約 9 割を占めているマンションは、プライバシーを重視する傾向から、コミュニティが希薄になりやすいため、マンション住民を対象としたつながりづくりの支援を行っている。</p> <p>また、つながりづくりのきっかけとして、住民各人に関心があり、誰もがつながりの必要性を感じる「防災」をテーマに働きかけている。</p>																								
実 績	<p>42棟のマンションにヒアリングし、うち7棟を支援（平成30年9月末現在）</p> <table border="1" data-bbox="352 1805 1430 1955"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 程</td> <td>8/5</td> <td>9/9</td> <td>9/12</td> <td>9/15</td> <td>9/23</td> <td>9/29</td> <td>9/29</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>40人</td> <td>57人</td> <td>12人</td> <td>24人</td> <td>9人</td> <td>38人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>感想：コミュニケーションを取ることの大切さを感じた。 マンションの行事にはなるべく参加しようと思う。 など</p>		1	2	3	4	5	6	7	日 程	8/5	9/9	9/12	9/15	9/23	9/29	9/29	参加者数	40人	57人	12人	24人	9人	38人	15人
	1	2	3	4	5	6	7																		
日 程	8/5	9/9	9/12	9/15	9/23	9/29	9/29																		
参加者数	40人	57人	12人	24人	9人	38人	15人																		


番 号	事業・取組の名称
④	まちづくりセンター等による支援【再掲】

目 的	<p>市民による自律的な地域運営の実現</p> <p>活力ある地域社会づくりに向けて、各種地域団体や企業、NPO 等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組めるよう、中間支援組織を活用し、自律的な地域運営を支援する。</p>
概 要	<p>それぞれの区において、地域実情に応じた中間支援組織に委託し、区からの密接な指示命令系統のもと、各地域活動協議会の状況に応じた効率的かつ効果的な支援を実施している。</p> <p>(東淀川区及び旭区は非常勤嘱託(地域づくりアドバイザー))</p>
取組の ポイント	<p>区役所の戦略に基づく受託者等による支援事業の実施状況について、PDCA の観点から、今後の各区における事業効果を高め、支援のあり方について検討するために評価を行っており、その内容を公表している。</p> <p>まちづくりセンター等が行う支援について、どのような支援を受けられることができるかについて知っていただけるように、課題・取組別に整理したうえで、市民局のウェブサイト上で公開している。</p> <p>まちづくりセンター等が行った支援の好事例を集めた事例共有会を開催し、まちづくりセンター等が区を越えて情報交換ができる仕組みを設けている。</p>
実 績	<p>【平成 30 年 3 月末時点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域活動協議会の形成数 325</li> <li>2 構成団体数の状況 地域活動協議会 1 団体あたり 23.6</li> <li>3 広報媒体の状況 掲示板 325/広報紙等 251/ホームページ 90 ブログ 59/FACEBOOK 125/Twitter 11</li> </ol>



事例：まちづくりセンター等による支援の事例

ICTを活用した参加のきっかけづくり（福島区）

<p>目的</p>	<p>SNSなどのICTを活用した、地域住民への情報発信を進める取組を創出し、市民活動への参加のきっかけづくりを行う。</p>
<p>概要</p>	<p>市民活動への参加を呼びかけるための、地域住民への情報発信を進める取組として、各地域活動協議会がホームページ等を開設できるよう、まちづくりセンターが地域に対し、必要な地域で勉強会を開催することなどにより、開設にかかる技術的支援を行い、10地域活動協議会で新たにホームページやFacebookが開設された。開設したホームページ等は、地域がより自主的に活用し、情報がタイムリーに更新されるよう、今後まちづくりセンターが支援していくこととしている。</p> <p>また、各地域活動協議会のホームページ、Facebookのリンクを、福島区役所のホームページにまとめて掲載し、各地域活動協議会での活動が容易に収集できる環境を整えている。</p> <p>URL：<a href="http://www.city.osaka.lg.jp/fukushima/page/0000436077.html">http://www.city.osaka.lg.jp/fukushima/page/0000436077.html</a></p> 
<p>取組のポイント</p>	<p>まちづくりセンターによる、地域活動協議会への情報発信にかかる支援として取り組まれており、地域力に応じて必要な地域で勉強会を開催し、ホームページ等の開設、および情報発信にかかる支援を行った。</p>
<p>実績</p>	<p>平成29年度に、福島区内のすべての地域（10地域）でホームページやFacebookが開設され、地域での自主的な情報発信が実施されている。</p>



## 2 連携協働に向けた支援策

### (1) 知る機会につながる支援

#### ア 連携協働に向けた情報発信の充実

#### 提言のポイント

提言では、多様な主体が連携協働して課題解決に取り組む状況をめざして、市民活動推進や連携協働に役立つ情報を知る機会を設ける必要があるとし、ポイントとして次のとおり提言しています。

- ターゲットが受け取りやすい情報発信の方法を考える。
- ICT・メディアによる情報発信を促進する。
- 連携協働のプロセスやメリット、成功事例を情報提供する。
- 多様な活動主体が集まる場やネットワークの情報など、他の活動主体と出会う機会の情報を提供する。
- 多様な活動主体の活動目的や活動内容に関する情報を提供する。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より


## 2 連携協働に向けた支援策

### (1) 知る機会につながる支援

#### ア 連携協働に向けた情報発信の充実

- ① [企業連携によるインターネットテレビを活用した情報発信](#)
- ② [連携協働のプロセス・メリット・成功事例の提供](#)
- ③ [市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援【再掲】](#)


番 号	事業・取組の名称
①	企業連携によるインターネットテレビを活用した情報発信

目 的	市民活動に役立つ情報が幅広い対象に伝わるよう、インターネットテレビを活用した情報発信を行う。
概 要	<p>地域貢献企業バンク（大阪府政・地域貢献企業登録制度）に登録し、大阪市政への協力の申し出をいただいている「一般社団法人 FC 大阪スポーツクラブ」と連携し、当法人が放映するインターネットテレビ「FC 大阪 TV」を活用して、市民活動支援に関する支援情報などを発信する取組を行っている。</p> <p>この間、大阪市の「大阪市市民活動総合支援事業」や、「大阪市市民活動総合ポータルサイト」に追加された機能、「市民活動のためのクリック募金」などの紹介を行った。</p> <div style="text-align: center;">  <p>The image shows the logo for Osaka City on the left, featuring a green stylized 'A' and the text 'OSAKA CITY 大阪市'. In the center is a black 'X' symbol. On the right is the logo for FC Osaka, which is a circular emblem with 'FC OSAKA' in the center and 'FC OSAKA' written below it.</p> </div>
取組の ポイント	企業連携によるインターネットテレビを活用した情報発信を行うことで、幅広い対象に情報を届けることが可能になる。
実 績	<p>【平成29（2017）年8月以降】 平成29年8月～平成30年8月 放映回数 15回 市民活動支援に関する情報発信を行った。</p>

番 号	事業・取組の名称
②	連携協働のプロセス・メリット・成功事例の提供

目 的	市民活動団体同士、もしくは市民活動団体と企業が連携した取組などを発信することで、新たな連携協働の取り組みを促進する。
概 要	<p>市民活動総合ポータルサイトに、次のコーナーを設けて、連携事例の成功事例を示し、プロセスやメリットを発信する取組を行っている。</p> <p>『イケてる！市民活動 ミニ☆レポート』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の社会貢献活動と市民活動団体との連携・協働により、新たな形での活動やこれまでにない成果が生まれた事例などを紹介</li> </ul> <p>『企業×市民活動 コラボのススメ』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市内の市民活動団体のコミュニティビジネス/ソーシャルビジネス（CB/SB）の取組事例や、市民活動団体同士の協働の取組事例などを紹介</li> </ul> <div data-bbox="389 987 884 1144" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="906 987 1394 1144" data-label="Image"> </div> <p>（掲載している取組の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動協議会、社会福祉協議会、生涯学習ルーム、専門学校が連携し地域の子どもたちを支える「子ども未来食堂」の取組</li> <li>設備会社とNPO 法人が連携し、小学生向けのワークショップを行っている事例</li> </ul> <p>また、平成30年9月には、より多くの取組事例を発信することを目的とし、ポータルサイトに登録している団体や個人が、自ら取組や活動の報告を掲載することができる「みんなの活動報告」のコーナーを開設した。</p> <div data-bbox="651 1565 1129 1722" data-label="Image"> </div>
取組の ポイント	各区における連携協働の取組事例を、区役所を通じて聞き取りを行い、取材により記事を作成、掲載する、ということを行って。記事の掲載後は、各区に地域活動支援の参考として活用されるよう、24区に発信し共有する。
実 績	【平成29年8月～平成30年8月】 市民活動総合ポータルサイト内の「イケてる！市民活動ミニレポート」 「企業×市民活動 コラボのススメ」への記事掲載件数 45件

番 号	事業・取組の名称
③	市民活動団体の活動内容の発信に向けた支援【再掲】

目 的	各活動主体の担い手の確保につなげるため、各活動主体に対して活動内容を分かりやすく発信することを勧めるとともに、活動内容を集約して発信できるようにするなど、情報発信の支援を行う。
概 要	<p>市民活動総合ポータルサイトに、市民活動団体が自ら情報を発信できる仕組みを作り、情報発信の支援を行っている。</p> <p>ポータルサイトに登録することで、団体の活動内容とともに、ボランティア募集、イベント周知などの情報を発信することができ、興味を持った方に分かりやすく情報が届くようにするため、エリア別、活動分野別に検索できる機能を備えている。</p> <p>また、平成29年10月以降、これまで市民活動に関わりの少なかった方に活動へ参加いただくきっかけとなるよう、順次、次の機能を追加した。</p> <div data-bbox="347 913 1433 1249" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【新たに追加した機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生を対象としたボランティア募集情報の検索機能（平成29年10月）</li> <li>・大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストボランティア加点对象事業一覧の掲載及び、この一覧に対応するボランティア募集情報の検索機能（平成30年5月）</li> <li>・住所を入力すると住所地の地域活動協議会やその取組内容を検索できる機能（平成30年8月）</li> <li>・ポータルサイトの利用を個人で登録できる機能（平成30年9月）</li> <li>・登録団体・個人が、自ら取組や活動の報告を発信できる機能（平成30年9月）</li> </ul> </div> <p>これらのメリットを幅広く周知するため、大学コンソーシアム大阪に各大学への周知の協力を依頼したほか、区役所を通じて地域団体に紹介するなど、機会を捉えてPRし、登録・活用の促進を行っている。</p> <div data-bbox="384 1406 1337 1816">  </div>
取組のポイント	<p>活動への参加者を増やすため、活動内容やボランティア募集の情報を集約的に分かりやすく示すなどの支援を行っている。</p> <p>また、登録・活用の促進を図るため、機会を捉えてPRを行った。</p>
実 績	<p>【平成29年8月～平成30年8月】</p> <p>新規登録団体数 168件</p>





## 2 連携協働に向けた支援策

### (2) 学び成長する機会につながる支援

#### ア 連携協働に必要なスキルを学ぶ機会の提供

#### 提言のポイント

提言では、多様な主体が連携協働して課題解決に取り組む状況をめざして、市民活動推進や連携協働に役立つ情報やスキルを学ぶ機会を設ける必要があるとし、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 連携協働のメリットやプロセスを学ぶ機会を提供する。
- 協力者を得ることができる活動の見せ方を学ぶ機会を提供する。
- 連携協働に必要なスキルを学ぶ機会を提供する。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より

## 2 連携協働に向けた支援策

### (2) 学び成長する機会につながる支援

#### ア 連携協働に必要なスキルを学ぶ機会の提供




① [地活協フォーラムによる事例共有](#)

② [協働推進に向けた職員づくり・体制づくり](#)

③ [地域公共人材派遣による支援【再掲】](#)

[事例：こどもの防災意識を高める「冊子」の制作（NPO法人ハートフレンド）](#)

番 号	事業・取組の名称
①	地活協フォーラムによる事例共有

目 的	<p>各区における地域活動協議会の活動者が、他区・他地域での活動事例を共有することや区を越えての交流・意見交換を行うことで、今後のつながりを作っていただくとともに、自らの地域活動協議会の活動を活性化させ、地域活動協議会がめざす「自律した地域運営」が各地域で実現されている状態をめざす。</p>
概 要	<p>今後のつながりを作り、地域活動協議会の活動を活性化させるため、各区における地域活動協議会の活動者が、他区・他地域での活動事例を共有し、また、区を越えての交流・意見交換を行う場を開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事例発表 (既存活動内容の見直し・NPO や企業との連携・地縁団体と企業連携)</li> <li>2 事例発表を題材にパネルディスカッション</li> <li>3 グループワーク</li> <li>4 名刺交換タイム (フリータイム)</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
取組の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動者みずから事例発表を行い、取組内容を共有</li> <li>・パネルディスカッションでは、コーディネーターが、事前に来場者から収集した質問票を用い、発表者へ質問を行い、発表者からエピソードを引き出すことで事例を掘り下げ、事例が成功したメカニズムをわかりやすく来場者に伝える。</li> <li>・グループワークでは、各活動者に共通するテーマ(例：新たな担い手の発掘等)を設定し、今後の交流(活動者同士の情報交換、相互視察等)に繋がるよう、近隣他区の活動者同士を配席した。</li> <li>・名刺交換タイムを設けることで、参加して終わりではなく、開催後のつながりづくりを促すしかけとした。</li> </ul>
実 績	<p>平成30年3月18日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 237人</li> <li>・フォーラム満足度(とても満足・満足) 87.8%</li> <li>・事例紹介満足度(とても満足・満足) 84.1%</li> <li>・意見交換会満足度(とても満足・満足) 90.5%</li> <li>・地域活動協議会内でフォーラムの情報共有を行なった。(東成区他)</li> <li>・同じ地域活動に取り組む他地域の事例を見聞きし、刺激を受けた。紹介事例については、今年度、派生的に新規事業を立ち上げている。(港区)</li> <li>・近隣区の地域と共同でイベント開催の提案がなされた。(中央区)</li> </ul>

番 号	事業・取組の名称
②	協働推進に向けた職員づくり・体制づくり

目 的	<p>「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」の実現に向け、区役所が地域に対する各種支援の要として機能するよう、地域と関わる区役所職員が地域に対する説明や取組の働きかけをする際に必要なノウハウ・スキル向上をめざす。</p>
概 要	<p>区役所職員を対象として、市民協働の基本理念を学習するための「基礎研修」、さまざまな活動主体における協働や自律的な地域運営を支援するためのノウハウ・スキルを学習するための「実践研修」、ビジネス手法を活用した地域活動（CB/SB）に関する知識を習得するための「CB/SB職員研修」を実施した。</p> <p>実践研修においては、地域課題の解決に（客観的データを含む）地域カルテがなぜ必要なのかを理解し、地域に分かりやすく説明できるようになるための「地域カルテ活用研修」と、連携・協働の取り組みを支援するために必要なファシリテーションスキルを習得するための「ファシリテーション研修」を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
取組の ポイント	<p>初めて地域と関わる職員を対象とした基礎研修と、経験 2～3年の職員を対象とした実践研修、CB/SB 支援を担当する職員を対象とした CB/SB 研修を、各区が職員に身につけさせたいスキル等のニーズを踏まえながら実施し、地域と関わるためのノウハウ等を向上させる。</p>
実 績	<p>平成 30 年 5 月 市民協働職員研修（基礎編）  7 月 CB・SB職員研修（基礎編）  8 月 市民協働職員研修（実践編）  研修 1：地域カルテ活用研修  研修 2：ファシリテーション研修  9 月 CB・SB職員研修（基礎編）フォローアップ研修  CB・SB職員研修（応用編）</p>

番 号	事業・取組の名称
③	地域公共人材派遣による支援【再掲】

目 的	<p>さまざまな専門知識やノウハウを持った「地域公共人材」を市民活動団体からの依頼に応じて派遣し活動の支援を行うことで、地域における市民活動の振興をめざす。</p>																																																																												
概 要	<p>市民活動団体からの依頼に応じて、地域公共人材バンク登録者の中から適切な人材を複数人選抜。それぞれの得意分野を活かして、依頼内容に応じてファシリテーションやコーディネート、専門的な知識やノウハウの提供を行うなど、市民活動団体の取組を支援している。</p> <p>初回ヒアリングでは団体の抱える現状を詳しくヒアリングし、課題解決に向けた支援計画を団体と考えゴールイメージを共有する。</p> <p>その後、派遣計画に基づき課題解決に向けた支援を行う。派遣回数は概ね5回までで、時間は各回1～3時間程度である。</p>																																																																												
取組の ポイント	<p>現在の地域公共人材バンク登録者数は 126 名で大学教授や中小企業診断士、デザイナーなど様々な知識・経験・スキルを持った人材が登録している。そのため、団体の依頼内容によって、適切な人材をマッチングさせることができる。</p> <p>また、支援の手法として、ファシリテーションが基礎となっているため、団体のニーズに寄り添った支援を行っている。</p> <p>さらに、人材への報償金は大阪市が負担しているため、申込団体は無料でサービスを受けることができる。</p>																																																																												
実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共人材が派遣計画を考え、団体とゴールイメージを共有した後、団体の抱える現状を分析・整理し、課題解決に向けてアクションすることで、より具体的な支援ができた。</li> <li>利用者満足度 <b>95%</b>（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> <li>派遣件数 73 件（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> </ul> <div data-bbox="352 1664 1417 2033"> <p style="text-align: center;">月別派遣申込件数</p> <table border="1"> <caption>月別派遣申込件数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>地域型</th> <th>テーマ型</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29.4</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.5</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29.6</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.8</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.11</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.12</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.1</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30.2</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.3</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.4</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.5</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.6</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.7</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.8</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.9</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> </div>	月	地域型	テーマ型	合計	H29.4	1	0	1	H29.5	2	0	2	H29.6	2	1	3	H29.7	0	0	0	H29.8	1	0	1	H29.9	0	0	0	H29.10	0	0	0	H29.11	0	0	0	H29.12	2	1	3	H30.1	4	3	7	H30.2	4	0	4	H30.3	3	0	3	H30.4	4	1	5	H30.5	3	1	4	H30.6	5	0	5	H30.7	4	1	5	H30.8	3	1	4	H30.9	4	1	5
月	地域型	テーマ型	合計																																																																										
H29.4	1	0	1																																																																										
H29.5	2	0	2																																																																										
H29.6	2	1	3																																																																										
H29.7	0	0	0																																																																										
H29.8	1	0	1																																																																										
H29.9	0	0	0																																																																										
H29.10	0	0	0																																																																										
H29.11	0	0	0																																																																										
H29.12	2	1	3																																																																										
H30.1	4	3	7																																																																										
H30.2	4	0	4																																																																										
H30.3	3	0	3																																																																										
H30.4	4	1	5																																																																										
H30.5	3	1	4																																																																										
H30.6	5	0	5																																																																										
H30.7	4	1	5																																																																										
H30.8	3	1	4																																																																										
H30.9	4	1	5																																																																										

事例：地域公共人材派遣による支援の事例

こどもの防災意識を高める「冊子」の制作（NPO法人ハートフレンド）

<p>目的</p>	<p>地域における市民活動の振興に向けて、課題抽出、それぞれの強みを活かせる活動主体間の連携・ネットワークづくり、地域や社会の資源の橋渡しなどのための調整を図り、活動主体間の話し合いを促す「地域公共人材」を充実し、地域での活用を促進することを目的とし、地域公共人材を派遣する。</p>
<p>概要</p>	<p>こどもの防災意識を高める「こども防災冊子」を制作するために、効果的な文章構成や制作手順について助言してほしいと、NPO法人ハートフレンドから依頼があった。</p> <p>団体が伝えたい想いをタイトル、コンテンツに落とし込み、冊子制作手順をレクチャーしながら、最後は団体自身で冊子を作成できるように一般的な文書作成ソフトを用いて、見栄えよくデザインする方法をレクチャーした。</p> 
<p>取組のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から最後まで団体自身の力で冊子を作り上げることができた。</li> <li>・団体の予算・スキルを加味して冊子の仕上げ方を提案。団体の意向に沿い、団体の人材を活かした方法で冊子完成まで導けた。</li> <li>・冊子づくりを通して団体の学び成長に寄与できたのではないかと考える。</li> </ul>
<p>実績</p>	<p>（団体からの感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達にないスキルや専門性を提供いただいたことが良かった。また、毎回励ましていただけたのでやる気がでた。</li> <li>・おかげ様で、自分達の冊子を完成させることができた。</li> <li>・もうダメかも…とあきらめていた気持ちが「やってみよう」と思えるようになった。</li> </ul>

## 2 連携協働に向けた支援策

### (3) つながりが生まれる環境につながる支援

#### ア つながりをつくることを目的とした場の提供

#### 提言のポイント

提言では、多様な主体が連携協働して課題解決に取り組む状況をめざして、様々な活動主体間のつながりが生まれる環境をつくる必要があるとし、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 連携協働の前の段階として、つながりをつくることを目的とした場を設定する。
- 参加してもらうために興味をひく工夫をする。
- 多様な主体が顔見知りになることを目的とした交流の場づくりをいろいろな形態で支援する。
- 気軽に集まれる物理的な場所を提供する。

提言「みんなで作る豊かな地域社会に向けて」より

## 2 連携協働に向けた支援策

### (3) つながりが生まれる環境につながる支援

#### ア つながりをつくることを目的とした場の提供

① 活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）【再掲】

② 活動主体間の交流の場の情報提供

③ 市民活動に役立つ資源の情報提供の取組



④ まちづくりセンター等による支援【再掲】

事例1：地域活動協議会と専門学校が連携した取組（淀川区三国地域活動協議会）

事例2：地域活動協議会と企業が連携した取組（城東区葦地域活動協議会）



番 号	事業・取組の名称
①	活動主体間の交流の場の設定（実際に集まる場とウェブ上の場）【再掲】

目 的	<p>市民、市民活動団体、企業など多様な主体が連携し、公共の担い手として市民活動、社会貢献活動ができるよう、活動を進めるうえで他の団体や企業と連携・協働を進めやすい環境を整えるために、「交流の場」の開催・運営等を行う。</p>
概 要	<p>平成30年度は、交流の場づくりを行う「社会課題解決に向けたプラットフォーム構築業務」を実施しており、交流会の開催とともに、交流の促進を目的として「つながるうまれる市民活動のWA! project」ホームページを立ち上げた。</p> <p>このサイトでは、実際に集まる「交流の場」の周知を行うだけでなく、「交流の場」での対話後も参加者が継続的なつながりを保つ仕組みとして、「情報交換掲示板」コーナーを設け、ウェブ上でもつながることができる「交流の場」を設けた。</p> <p>URL：<a href="https://www.osaka-wa.jp/">https://www.osaka-wa.jp/</a></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
取組の ポイント	<p>活動主体間の交流や連携協働の創出に向け、実際に集まる「交流の場」に加えて、ICT を活用して継続的につながることができるウェブ上での「交流の場」を設けた。</p>
実 績	<p>平成30年 6月 「つながるうまれる市民活動のWA! project」サイトを立ち上げる</p> <p>平成30年 7月 交流の場「第1回研究会」を開催 「つながるうまれる市民活動のWA! project」サイト内に「情報交換掲示板」を開設</p> <p>平成30年9月 交流の場「第2回研究会」を開催</p>

番 号	事業・取組の名称
②	活動主体間の交流の場の情報提供

目 的	社会課題の解決に向け、市民、市民活動団体、企業など多様な主体が連携・協働を進めるために各区や地域で実施している「交流の場」の情報を提供する。
概 要	<p>市民活動総合ポータルサイトに「交流会情報」のページを設け、各区、地域で実施されている交流の場の情報も掲載する。</p> <p>例：企業・NPO・学校・地域交流会【住之江区】 にしょどリンク 地域こども支援団体連絡会 など</p>  
取組の ポイント	様々な区、地域での交流会や、テーマごとの交流会など、様々な利用者のニーズに合った交流会情報を掲載するようにしている。
実 績	【平成 29 年 8 月～平成 30 年 8 月】 交流会情報 31件

番 号	事業・取組の名称
③	市民活動に役立つ資源の情報提供の取組

目 的	市民活動団体の活動の活発化や活動主体間がつながるきっかけづくりを目的とし、市民活動団体や社会貢献活動を行う企業が提供している資源の情報を提供する。
概 要	<p>市民活動ポータルサイトに、「資源の提供情報」を掲載するコーナーを設け、ポータルサイト利用者に、市民活動に役立つ資源を提供できる仕組みを作っている。</p> <p>社会貢献活動を行う企業等がポータルサイトに登録して資源を提供いただくことで、市民活動団体等が企業等の取組を知るきっかけにもなっている。</p> <p>資源には、イベント等の会場用のスペースの提供や、ワーキングスペースといった場所の情報のほか、人材、物品、スキル・ノウハウなどの情報があり、団体間で直接連絡を取り合い、資源のやりとりを行っている。</p> <div data-bbox="427 1064 1353 1556" data-label="Image"> </div>
取組の ポイント	資源を提供することで、活動に役立つとともに、活動主体間が知り合うきっかけにもなる。また、企業の地域貢献活動を促すきっかけにもなっている。
実 績	<p>【平成29（2017）年8月以降】</p> <p>資源の提供情報の掲載件数 27件（平成29年8月～平成30年8月）</p> <p>主な提供情報・・・講座・セミナー開催情報 講師の派遣情報 スペースの提供情報 物品（パソコン等）の寄贈の情報 など</p>

番 号	事業・取組の名称
④	まちづくりセンター等による支援【再掲】

目 的	<p>市民による自律的な地域運営の実現</p> <p>活力ある地域社会づくりに向けて、各種地域団体や企業、NPO 等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題に取り組めるよう、中間支援組織を活用し、自律的な地域運営を支援する。</p>
概 要	<p>それぞれの区において、地域実情に応じた中間支援組織に委託し、区からの密接な指示命令系統のもと、各地域活動協議会の状況に応じた効率的かつ効果的な支援を実施している。</p> <p>(東淀川区及び旭区は非常勤嘱託(地域づくりアドバイザー))</p>
取組の ポイント	<p>区役所の戦略に基づく受託者等による支援事業の実施状況について、PDCA の観点から、今後の各区における事業効果を高め、支援のあり方について検討するために評価を行っており、その内容を公表している。</p> <p>まちづくりセンター等が行う支援について、どのような支援を受けることができるかについて知っていただけるように、課題・取組別に整理したうえで、市民局のウェブサイト上で公開している。</p> <p>まちづくりセンター等が行った支援の好事例を集めた事例共有会を開催し、まちづくりセンター等が区を越えて情報交換ができる仕組みを設けている。</p>
実 績	<p>【平成 30 年 3 月末時点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域活動協議会の形成数 325</li> <li>2 構成団体数の状況 地域活動協議会 1 団体あたり 23.6</li> <li>3 広報媒体の状況 掲示板 325/広報紙等 251/ホームページ 90 ブログ 59/FACEBOOK 125/Twitter 11</li> </ol>

## 事例1 : まちづくりセンター等による支援の事例

### 地域活動協議会と専門学校が連携した取組（淀川区三国地域活動協議会）

<p>目的</p>	<p>地域主催のイベントに子どもを呼び込み、イベントを活性化することとあわせ、地域への愛着の醸成につながるよう、地域と専門学校が連携した取組を行った。</p>
<p>概要</p>	<p>淀川区三国地活協主催のハロウィンイベント「みくに子どもカーニバル」を、まちづくりセンターの支援により、大阪ウェディング&amp;ブライダル専門学校、地域内商店街「サンティフルみくに」と連携して開催した。</p> <p>三国小学校に、魔女やキャラクターなど思い思いの衣装に身を包んだ子どもたちが集まり、大阪ウェディング&amp;ブライダル専門学校の生徒さんたちが仮装した子どもたちに「フェイスペインティング」や「ヘアアレンジ」を施し、地域内の商店街をパレードした。</p> <p>アーケードがあり、歩行者専用となっていて安心して通行できる「商店街」を子どもとその保護者とでパレードすることで、普段は商店街になじみの薄い若い世代や、区画整理事業で新築された大型マンションに新たに転入してきた世帯に対して、地元商店街をアピールできる機会にもなった。</p> <p>子ども達はハロウィンには欠かせない？お菓子ももらい、子どもたちにとって地域への愛着間を醸成できた楽しいイベントになった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>取組のポイント</p>	<p>地活協主催のイベントに、子どもやその保護者世代、新たな住民等呼び込み、楽しみながら商店街に親しむ取組を専門学校と連携して行った。</p> <p>専門学校の社会貢献活動により、地域主催のイベントに協力した事例である。</p>
<p>実績</p>	<p>平成29年10月29日（日） 「みくに子どもカーニバル」開催          場 所：三国小学校・サンティフルみくに          参加者数：400人          専門学校生・教員：7人</p>

## 事例2 : まちづくりセンター等による支援の事例

### 地域活動協議会と企業が連携した取組（城東区葦地域活動協議会）

<p>目的</p>	<p>地域活動を行う場所がないという課題に対し、企業の社会貢献活動により、企業が持つスペースを活動場所として提供することで、課題解決を図る。</p>
<p>概要</p>	<p>葦（すみれ）地域活動協議会の事業である緑化事業でできた、押し花を使って菜をつくる地域団体「押し花でつくる菜」が葦地域内にあり、活動場所の確保という課題を抱えていたため、葦地域活動協議会に相談をしていた。</p> <p>一方、葦地域活動協議会区域内に店舗を持つ「関西スーパー」から、地域貢献を行いたいとの申し出が区社会福祉協議会にあった。</p> <p>それらの情報から、まちづくりセンターが葦地域活動協議会と関西スーパーをマッチングし、関西スーパーの店舗の空きスペースが、「押し花でつくる菜」の活動場所として提供されることとなった。</p>
<p>取組のポイント</p>	<p>地域が抱える課題と、企業の社会貢献を行いたいという意向を、まちづくりセンターのマッチングにより新たな連携の取組につながり、課題が解決する事例となった。</p>
<p>実績</p>	<p>平成30年2月より、「押し花でつくる菜」の活動のため、「関西スーパー」店舗の空きスペースを活用</p>

## 2 連携協働に向けた支援策

### (4) 活動が認知・顕彰される環境につながる支援

#### ア 認知・顕彰する機会の創出

#### 提言のポイント

提言では、多様な主体が連携協働して課題解決に取り組む状況をめざして、活動や連携協働の取組が認知・顕彰される環境をつくる必要があるとし、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 認知・顕彰の効果について情報提供する。
- 認知・顕彰する機会の創出を促す。
- 既にある表彰等の機会や顕彰された団体を重ねて顕彰する。

提言「みんなで作る豊かな地域社会に向けて」より

## 2 連携協働に向けた支援策

### (4) 活動が認知・顕彰される環境につながる支援

#### ア 認知・顕彰する機会の創出

① [CB事業の顕彰（CSOアワード大阪市長賞）](#)

② [市民活動推進助成事業（区政推進基金市民活動団体支援型）](#)

認知・顕彰によりつながりが生まれた事例

[事例1：NPOと企業が連携した取組（NPO 法人子どもデザイン教室）](#)

[事例2：NPOと学校・地域が連携した取組（NPO 法人あわじ寺子屋）](#)



番 号	事業・取組の名称
①	CB 事業の顕彰（CSO アワード大阪市長賞）



目 的	<p>大阪市内で実施される優れた CB/SB にスポットを当て、広報に活用することで、より幅広い層の市民に対して CB/SB への関心を喚起し、様々な分野での CB/SB 化への機運を高めることを目的に、認定特定非営利活動法人大阪NPOセンターが実施するCSOアワード内に大阪市長賞を設立し、表彰を行っている。</p>
概 要	<p>大阪市内で実施する CB/SB を対象にしており、地域資源の循環（ヒトや場所、歴史的、文化的遺産などが有効に活用されており地域資源の循環が見込まれるか）、地域団体との連携が見込まれるか、地域住民の共感を得て、多くの協力者や支援者を得られているか、などの視点から、総合的に評価し選考する。</p> <p>受賞団体には、大阪市ホームページなどにおいて「大阪市長賞」として活動内容を紹介するなど、広報面での支援を行う。</p>
取組の ポイント	<p>募集時及び受賞団体決定時など機会を捉え、各区・局及び大阪市と包括企業連携を結んでいる企業等と連携し、ホームページや SNS、広報誌等様々な媒体で受賞団体の活動を広く周知。</p>
実 績	<p>平成 26 年度から実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度受賞団体 特定非営利活動法人子どもデザイン教室</li> <li>平成 29 年度受賞団体 特定非営利活動法人メディカル指南車</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="349 1563 844 1930"> </div> <div data-bbox="858 1563 1353 1930"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="379 1957 815 1989">特定非営利活動法人子どもデザイン教室</div> <div data-bbox="900 1957 1310 1989">特定非営利活動法人メディカル指南車</div> </div>

番 号	事業・取組の名称
②	市民活動推進助成事業（区政推進基金市民活動団体支援型）

目 的	市民・企業等からの寄附金を活用して市民活動団体の公益的な活動を支援することで、自律的な市民活動の推進を図る。																																																		
概 要	<p>大阪市区政推進基金を活用し、市民活動団体が行う公益的な事業に対して助成する。</p> <p>寄付金を活用した助成金の交付は「大阪市市民活動推進事業運営会議（※）」の審査を得て大阪市が決定する。</p> <p>1事業 100万円以内（対象経費総額の50%以内、千円未満切捨て）を限度とする。</p> <p>10月頃に「中間報告会」を実施し、各市民活動団体から年度前半の活動報告受け、大阪市市民活動推進事業運営会議委員（有識者）から、年度後半に向けた活動の助言を行っている。</p> <p>また、年度終了後には「事業報告会・交流会」を実施し、有識者からの助言を行い、市民活動団体と寄付者との交流を図っている。</p> <p>各助成対象事業のモニタリングを行い、SNSで情報発信を行っている。</p> <p>※大阪市市民活動推進事業運営会議 登録団体の申請や、助成金の交付に関する意見を聴取</p>																																																		
取組の ポイント	<p>市民活動団体の自律に向けた支援を目的として、助成金を交付し、有識者から自律に向けた助言を行い、さらには寄附者との交流を図っている。</p> <p>また、選定時や中間報告会、また、SNS等を活用した事業周知など、機会を捉えて助成対象事業についての情報を発信している。</p> <p>28年度からは3年を限度に継続した申請を可能とし、より自律に向けたより一層のサポート行うこととした。</p>																																																		
実 績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">年 度</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">交付決定額</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">決算額（円）</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">事業数</th> <th style="text-align: center;">金額（万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 20（2008）年度</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">280</td><td style="text-align: right;">2,797,000</td></tr> <tr><td>平成 21（2009）年度</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">250</td><td style="text-align: right;">2,500,000</td></tr> <tr><td>平成 22（2010）年度</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">350</td><td style="text-align: right;">3,378,000</td></tr> <tr><td>平成 23（2011）年度</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">317</td><td style="text-align: right;">2,855,000</td></tr> <tr><td>平成 24（2012）年度</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">200</td><td style="text-align: right;">2,001,000</td></tr> <tr><td>平成 25（2013）年度</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">274</td><td style="text-align: right;">2,711,000</td></tr> <tr><td>平成 26（2014）年度</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">231</td><td style="text-align: right;">2,207,000</td></tr> <tr><td>平成 27（2015）年度</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">243</td><td style="text-align: right;">2,297,000</td></tr> <tr><td>平成 28（2016）年度</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">350</td><td style="text-align: right;">3,492,000</td></tr> <tr><td>平成 29（2017）年度</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">458</td><td style="text-align: right;">4,218,000</td></tr> <tr><td>平成 30（2018）年度</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">522</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> </tbody> </table>	年 度	交付決定額		決算額（円）	事業数	金額（万円）	平成 20（2008）年度	7	280	2,797,000	平成 21（2009）年度	8	250	2,500,000	平成 22（2010）年度	7	350	3,378,000	平成 23（2011）年度	7	317	2,855,000	平成 24（2012）年度	4	200	2,001,000	平成 25（2013）年度	6	274	2,711,000	平成 26（2014）年度	4	231	2,207,000	平成 27（2015）年度	8	243	2,297,000	平成 28（2016）年度	6	350	3,492,000	平成 29（2017）年度	8	458	4,218,000	平成 30（2018）年度	6	522	—
年 度	交付決定額		決算額（円）																																																
	事業数	金額（万円）																																																	
平成 20（2008）年度	7	280	2,797,000																																																
平成 21（2009）年度	8	250	2,500,000																																																
平成 22（2010）年度	7	350	3,378,000																																																
平成 23（2011）年度	7	317	2,855,000																																																
平成 24（2012）年度	4	200	2,001,000																																																
平成 25（2013）年度	6	274	2,711,000																																																
平成 26（2014）年度	4	231	2,207,000																																																
平成 27（2015）年度	8	243	2,297,000																																																
平成 28（2016）年度	6	350	3,492,000																																																
平成 29（2017）年度	8	458	4,218,000																																																
平成 30（2018）年度	6	522	—																																																

事例1 : 認知・顕彰によりつながりが生まれた事例

NPOと企業が連携した取組（NPO 法人子どもデザイン教室）

<p>目的</p>	<p>親と暮らせない子どもが抱える貧困の連鎖という課題について、様々な媒体で社会に問題を提起しながら、「デザイン教育」を通して、子ども自身の「生きる力」を育成することによる解消をめざしている。</p>
<p>概要</p>	<p>児童養護施設や里親委託で暮らす子ども、一般家庭の子どもに対し、一年間を通して商品を企画・製造し、販売するという経済社会の基本を模擬体験できる「子どもデザイン教室」を実施している。</p> <p>教室で作成した子どもたちの作品を地域で展示・販売し、収益を子ども自身の自立資金に充てるとともに、地域における認知度の向上に努めている。</p> <p>平成28年度から、市民活動推進助成事業の対象事業に選ばれ、助成金により作成したチラシを近隣の小中学校等に配架し、受講生の増加につなげている。</p> <p>また、同年に「CSO アワード 2016 大阪市長賞」を受賞したことをきっかけに、大阪市と包括連携協定を結んでいる「株式会社関西ぱど」が発行する子育て情報誌「まみたん」に広報記事を掲載した。</p> <p>平成29年8月には、同じく大阪市と包括連携協定を結んでいる「大阪シティ信用金庫」の南田辺支店において、子どもたちが製作した絵本の展示会を開催するとともに、里親制度についての周知活動を行うなど、積極的に活動を展開している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>取組のポイント</p>	<p>平成28年度から市民活動推進助成事業の対象事業となり、さらにCSOアワード2016で大阪市長賞を受賞したことで、地域や企業の共感を得られ、つながりが生まれている。</p>
<p>実績</p>	<p>平成28年度 大阪市市民活動推進助成事業の対象事業に選定          (平成29・30年度も選定)          CSOアワード2016 大阪市長賞 受賞</p> <p>【連携事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「株式会社関西ぱど」が発行する子育て情報誌「まみたん」に広報記事を掲載</li> <li>・「大阪シティ信用金庫」の南田辺支店にて、子どもたちが製作した絵本の展示会を開催。また里親制度についての周知活動を実施</li> </ul>

## 事例2 : 認知・顕彰によりつながりが生まれた事例

### NPOと学校・地域が連携した取組（NPO 法人あわじ寺子屋）

<p>目的</p>	<p>「子どもの貧困」と「貧困の連鎖」という課題解決のため、不登校やひとり親家庭等、様々な課題を持つ子どもたちの「居場所」を作り、子どもたちを守る「シェルターの役割」を果たすこと、また、子どもたちの未来に夢と可能性を広げるため、「教えあい、学びあい」を大切に「学習支援事業」を実施し、不登校や高校中退の防止につなげることをめざしている。</p>
<p>概要</p>	<p>主に大阪市立淡路中学校区の小学生・中学生・高校生を対象に、毎週月曜日から金曜日まで居場所事業、学習支援事業を実施し、さらに体験学習事業や子どもと保護者への教育・生活相談事業を行っている。地域や学校、行政、関係機関との連携を強化するため、定期的に会議を開催している。</p> <p>平成 28 年度から市民活動推進助成事業の対象事業となったことで、支援が広がり、地域の協力を得て、体験学習（パソコン教室や自転車修理教室等）やスポーツ大会等を実施している。</p> <p>また、市民活動推進事業運営会議委員（有識者）からのアドバイスを受けて、団体の課題解決に向け積極的に取り組んでおり、特に資金力不足の解消と事務能力向上に力を入れている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="421 1122 842 1509">  </div> <div data-bbox="916 1122 1345 1509">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="517 1532 691 1561"> <p>自転車修理教室</p> </div> <div data-bbox="963 1532 1278 1561"> <p>卓球クラブとのスポーツ大会</p> </div> </div>
<p>取組のポイント</p>	<p>平成 28 年度から市民活動推進助成事業の対象事業となったことで、子どもと保護者、学校と地域と行政、関係する NPO 法人や企業の共感を得られ、支援が広がっている。</p>
<p>実績</p>	<p>平成 28 年度 大阪市市民活動推進助成事業の対象事業に選定 （平成 29・30 年度も選定） 平成 30 年 5 月 認定特定非営利活動法人制度の特例認定を受ける。</p> <p>【連携事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力により、子どもたちの学習意欲を向上させる体験学習を実施</li> <li>・市民活動推進事業運営会議委員（有識者）からのアドバイスを受けて、団体の課題解決に向け積極的な取組を実施</li> </ul>

## 2 連携協働に向けた支援策

### (5) 活動状況に応じて適切な支援を

受けることができる環境につながる支援

#### 提言のポイント

提言では、多様な主体が連携協働して課題解決に取り組む状況をめざして、各活動主体の活動状況に応じて適切な支援を受けることができる環境をつくる必要があるとし、ポイントとして次のとおり提言しています。

- 戦略を持って支援を行う。
- 支援者は幅広い知識や情報の収集に努める。
- 市民活動支援においても連携協働をめざす。

提言「みんなでつくる豊かな地域社会に向けて」より

## 2 連携協働に向けた支援策

(5) 活動状況に応じて適切な支援を受けることができる環境につながる支援

### ア 戦略づくりに向けた支援

① [地域公共人材派遣による支援【再掲】](#)

[事例：団体の事業計画づくりに向けた支援（Worker and Cancer）](#)

### イ 知識や情報の収集に向けた支援

② [市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実【再掲】](#)

### ウ 市民活動支援における連携協働


③ [中間支援組織等の協力を得た取組事例](#)

番 号	事業・取組の名称
①	地域公共人材派遣による支援【再掲】

目 的	<p>さまざまな専門知識やノウハウを持った「地域公共人材」を市民活動団体からの依頼に応じて派遣し活動の支援を行うことで、地域における市民活動の振興をめざす。</p>																																																																												
概 要	<p>市民活動団体からの依頼に応じて、地域公共人材バンク登録者の中から適切な人材を複数人選抜。それぞれの得意分野を活かして、依頼内容に応じてファシリテーションやコーディネート、専門的な知識やノウハウの提供を行うなど、市民活動団体の取組を支援している。</p> <p>初回ヒアリングでは団体の抱える現状を詳しくヒアリングし、課題解決に向けた支援計画を団体と考えゴールイメージを共有する。</p> <p>その後、派遣計画に基づき課題解決に向けた支援を行う。派遣回数は概ね5回までで、時間は各回1～3時間程度である。</p>																																																																												
取組の ポイント	<p>現在の地域公共人材バンク登録者数は 126 名で大学教授や中小企業診断士、デザイナーなど様々な知識・経験・スキルを持った人材が登録している。そのため、団体の依頼内容によって、適切な人材をマッチングさせることができる。</p> <p>また、支援の手法として、ファシリテーションが基礎となっているため、団体のニーズに寄り添った支援を行っている。</p> <p>さらに、人材への報償金は大阪市が負担しているため、申込団体は無料でサービスを受けることができる。</p>																																																																												
実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共人材が派遣計画を考え、団体とゴールイメージを共有した後、団体の抱える現状を分析・整理し、課題解決に向けてアクションすることで、より具体的な支援ができた。</li> <li>利用者満足度 <b>95%</b>（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> <li>派遣件数 73 件（平成 27.4.1～平成 30.3.31 時点）</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>月別派遣申込件数</p> <table border="1"> <caption>月別派遣申込件数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>地域型</th> <th>テーマ型</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29.4</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.5</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29.6</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H29.7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.8</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29.9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.11</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29.12</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.1</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30.2</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.3</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>H30.4</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.5</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.6</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.7</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>H30.8</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>H30.9</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td></tr> </tbody> </table> </div>	月	地域型	テーマ型	合計	H29.4	1	0	1	H29.5	2	0	2	H29.6	2	1	3	H29.7	0	0	0	H29.8	1	0	1	H29.9	0	0	0	H29.10	0	0	0	H29.11	0	0	0	H29.12	2	1	3	H30.1	4	3	7	H30.2	4	0	4	H30.3	3	0	3	H30.4	4	1	5	H30.5	3	1	4	H30.6	5	0	5	H30.7	4	1	5	H30.8	3	1	4	H30.9	4	1	5
月	地域型	テーマ型	合計																																																																										
H29.4	1	0	1																																																																										
H29.5	2	0	2																																																																										
H29.6	2	1	3																																																																										
H29.7	0	0	0																																																																										
H29.8	1	0	1																																																																										
H29.9	0	0	0																																																																										
H29.10	0	0	0																																																																										
H29.11	0	0	0																																																																										
H29.12	2	1	3																																																																										
H30.1	4	3	7																																																																										
H30.2	4	0	4																																																																										
H30.3	3	0	3																																																																										
H30.4	4	1	5																																																																										
H30.5	3	1	4																																																																										
H30.6	5	0	5																																																																										
H30.7	4	1	5																																																																										
H30.8	3	1	4																																																																										
H30.9	4	1	5																																																																										

事例：地域公共人材派遣による支援の事例

団体の事業計画づくりに向けた支援（Worker and Cancer）

<p>目的</p>	<p>地域における市民活動の振興に向けて、課題抽出、それぞれの強みを活かせる活動主体間の連携・ネットワークづくり、地域や社会の資源の橋渡しなどのための調整を図り、活動主体間の話し合いを促す「地域公共人材」を充実し、地域での活用を促進することを目的とし、地域公共人材を派遣する。</p>
<p>概要</p>	<p>事業計画の見直しと整理を行い、ホームページやチラシの刷新を行なうために、助言並びに会議のファシリテーションをしてほしいと、任意団体の Worker and Cancer から依頼があった。</p> <p>事業整理から始まり、事業のターゲットに届く広報物の選定など広報戦略を練った。</p> <p>その一つとしてリーフレットの作成支援を行い、派遣終了後、団体の手によってリーフレットが完成した。</p> <p>様々な広報手段によって、イベント参加者増え、マスコミからの取材依頼があり、活動に広がりを見せている。</p> 
<p>取組のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーとの意識共有から始まり、事業整理、広報戦略、リーフレットづくりと、計7回の派遣となり伴走型の支援ができています。</li> <li>・戦略の策定から実際に成果物を団体が作成し、成果も伴った成功事例。</li> <li>・戦略的に取り組む支援を行えた事例ではないかと考える。</li> </ul>
<p>実績</p>	<p>（団体からの感想）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初をお願いしていた、事業の整理と刷新が出来た。また、事業のための広報物の選定とターゲットへのアプローチの方法が明確になった。</li> <li>・活動を進めるための目標と問題点が整理され、どの様に今後どこへアプローチをすれば良いかはっきりした。</li> <li>・ご協力いただき感謝している。</li> </ul>



番 号	事業・取組の名称
②	市民活動総合ポータルサイトによる情報提供の充実【再掲】

目 的	市民活動を進める誰もが、活動を進めるうえで必要な情報を容易に取得できる環境を作る。
概 要	<p>大阪市における市民活動・ボランティア活動の活性化に役立つ様々な情報をインターネット上で収集・発信するサイトとして、「大阪市市民活動総合ポータルサイト」を運営している。</p> <p>サイトでは、市民活動・ボランティア活動への市民の参加を促すとともに、市民活動団体がこれらの情報を利用して活動を円滑に進め、他の市民活動団体や企業などと連携協働しながら地域課題の解決に向けた取組を進められるよう支援することを目的とし、様々な情報を掲載している。</p> <p>平成30年4月には、NPO法人関連情報の項目を追加し、NPO法人化に向けた手続き等の情報を掲載するなど、情報の充実を図った。</p> <p>また、サイトの活用促進に向けて、様々な機会を通じてサイトの有用性や登録のメリットを説明し、平成29年度に24区役所において開設した市民活動に関する相談窓口での相談対応の際にも紹介するなど、登録や活用を促している。</p> <p>〔取り扱う項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市域で活動する団体や社会貢献活動に取り組む企業に関する情報</li> <li>・ボランティア募集情報・イベント情報</li> <li>・市民活動を進めるうえで役に立つ支援制度や資源に関する情報 など</li> </ul> <p>URL：<a href="http://kyodo-portal.city.osaka.jp/">http://kyodo-portal.city.osaka.jp/</a></p> 
取組のポイント	活動上の課題解決に役立つ、新しい情報を収集し、掲載情報を充実させる。サイトの活用促進に向けて、様々な機会を通じて周知を行う。
実 績	<p>【平成29年8月～平成30年8月】</p> <p>情報掲載件数 957件</p> <p>※ 掲載件数の多い分野</p> <p>「ボランティア・イベント情報」「団体情報」「助成金情報」など</p>

番 号	事業・取組の名称
③	中間支援組織等の協力を得た事例

目 的	市民活動への支援がより効果的なものになるよう、大阪市が行う市民活動総合支援事業に対し、中間支援組織等の協力を得て、助言を受ける機会を設けた。
概 要	<p>大阪市は、「大阪市市民活動総合相談窓口の開設・運営※1」や「大阪市市民活動総合ポータルサイトの運営※2」、「交流の場の設置※3」を行う大阪市市民活動総合支援事業を実施している。</p> <p>さらなる市民活動の活性、多様な協働の推進に向け、この事業を今後どう展開していけばいいかについてご意見を受けるため、大阪市域において市民活動や市民活動支援に取り組まれている中間支援組織等の団体のご協力を得て「大阪市市民活動総合支援事業 キックオフ会」を開催した。</p> <p>各団体からそれぞれの知識や経験に基づく多角的な観点からのご意見をいただくことができ、今後はこれらのご意見を取り入れながら取組を進めていく。</p> <p>【ご協力いただいた団体（五十音順）】            一般財団法人大阪コミュニティ協会            大阪ええまちプロジェクト            大阪シティ信用金庫            “大阪を変える100人”会議            Code for OSAKA            社会福祉法人大阪ボランティア協会            認定NPO法人 サービスgrant</p>  <p>【受託者】            ※1 社会福祉法人大阪市社会福祉協議会            ※2 特定非営利活動法人大阪NPOセンター            ※3 株式会社アクセプト</p> 
取組の ポイント	市民活動への支援がより効果的なものとなるよう、市民活動や市民活動支援に取り組まれている中間支店組織等の協力を得ることができた。
実 績	【平成29（2017）年8月以降】 大阪市市民活動総合支援事業 キックオフ会開催（平成30年5月14日）

